

1. 堺市の障害児数

- ・児童数（R5年3月末18歳未満人口） 121,985人
- ・障害児数（児童数×14.4%※）推定 約17,565人

※文科省 R3 特別支援教育の現状 5.6% +R4 通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査 8.8%

<参考> 堺市障害児支援専門部会「就学前障害児の実態」より

	H30	R1	R2	R3	R4
就学前 児童数	40,661人	39,678人	38,619人	37,456人	36,079人
内 障害児数	1,831人	1,744人	1,581人	1,864人	1,912人



2. 「巡回訪問支援」（幼保運営課）

区公立こども園に心理職員6名配置（各区1、東・美原で1）。公立及び民間の保育所、認定こども園、地域型保育事業所を巡回し、発達障害など特別な支援が必要な児童に対する保育内容や配慮について指導助言を行う。

【R4年度】

〈保育所・認定こども園〉全151施設（95%訪問）

〈0.1.2歳児対象の小規模保育事業所〉全74施設（57%訪問）

巡回施設数185か所、のべ巡回回数578回、のべ対象児童数3,686人

3. 堺市幼稚園巡回相談事業（教育センター能力開発課 幼児教育グループ）

※従来の「私立幼稚園巡回相談事業」と「堺市立幼稚園早期支援員派遣事業」を再構築したもの。堺市内の幼稚園に在園する発達障害児等に対する個に応じた指導を支援するため、専門家による巡回相談を行う。園児への指導方法や配慮すべき内容等を教職員に直接指導する機会をもつことにより、幼稚園での障害児の受け入れを促進する。また、組織的に支援できる園内体制を確立し、幼児の特性に応じた発達を保障する。個別相談コースと環境整備コースのいずれかを選択できる。対象施設：公立4園及び私立幼稚園24園

【R4年度】

- ・私立幼稚園巡回相談事業

巡回施設数10か所、延べ巡回回数30回（各園3回）、対象園時数延べ30人

- ・堺市立幼稚園早期支援員派遣事業 実施回数14回

4. 教育相談（教育センター能力開発課）

不登校、発達、性格に関する相談が多い傾向にある。

【R4 年度】延べ面接相談人数 8,148 人

（うちソフィア教育相談の面接相談人数は 5,696 人、ふれあい教育相談の面接相談人数は 2,452 人）

5. 「発達障害啓発週間」事業（障害支援課）

【実施内容】発達障害啓発週間である毎年 4 月 2 日～8 日を中心に、啓発活動を実施。

- ① 広報、市ホームページでの啓発記事掲載及びイベント広報
 - ② 関係機関等へチラシ・ポスター掲示、パンフレット・リーフレット配架
 - ③ パネル展
 - ・イオンモール堺鉄砲町 ・健康福祉プラザ 1F エントランスロビー
 - ・堺市役所 1F 玄関ホール ・堺市西区役所 1F 玄関ホール
 - ④ ブルーライトアップ 4 月 3 日～4 月 9 日 旧堺燈台
 - ⑤ 講演会「発達障害 家族のこれまでとこれから～親やきょうだいの視点から～」の開催（オンライン）
- * 発達障害啓発週間関連ブックフェア（連携事業）4 月 1 日～4 月 30 日 堺市立西図書館

6. あい・さかい・サポーター養成研修（障害支援課、幼保運営課）

地域の認定こども園・保育所・幼稚園・障害児支援事業所等、子どもの発達支援に携わるすべての機関において、発達障害など特別な支援を必要とする子どもとその家族に適切な支援を行うことができるよう専門研修（2 か年度）を実施する。

【R4 年度】あい・さかい・サポートリーダー新規認定者数：29 名

7. 「あい・ふあいる」活用推進事業

【事業概要】堺市で作成している「あい・ふあいる」の活用促進を行うためのセミナーの開催。

実施予定時期：令和 6 年 3 月 6 日

対象者：支援者(事業者、学校等)

アンケートの実施：3 年に 1 度あい・ふあいるについて関係機関へのアンケートを実施。

次回は令和 6 年度に案を提出、令和 7 年度に結果報告予定。